



令和2年度 スタート！！

年度初めのごあいさつ&新メンバーの紹介

4月からは前任の渡邊所長から豊後所長へ、竹田主査から門田技師へとメンバーが代わり和食ダム建設事務所の令和2年度がスタートしました。

今年度も和食ダムの安全かつ早期の完成を目指して、地域の皆様と一体となって業務を進めて参ります。

これまでに引き続きまして、皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

ぶんご あきひこ
所長 豊後 彰彦 (左写真の右から3人目)



4月に異動してまいりました、豊後でございます。前の職場では須崎市で南海トラフ地震対策に従事していました。今後は当事務所長として、この地域にとっての全体最適を目指した業務の進め方をして参りますので、どうかよろしくお願い申し上げます。

なお、新型コロナウイルス感染症の影響により、皆様方へご挨拶を最小限に控えています。ご理解の上ご容赦いただきますようお願いいたします。

かどた こうせい
技師 門田 晃誠 (左写真の右から4人目)

今年度より配属されました、門田です。まだまだ経験不足ではありますが、趣味のランニングで培った体力を生かして全力で頑張ります。どうぞよろしくお願いいたします。

よろしくお願いいたします！！

和食ダム 現在の様子

令和6年度末のダム完成を目指して、平成31年2月から左岸側の再掘削を進めています。本年3月末時点では、全体の掘削予定高さ約100mのうち50m切り下げた標高113m地点までが完了しました。切り下げた斜面に対しては、崩壊を防止するための工法（法面对策工）を実施し、ボルトで固定します。その後、降雨や風化などによる浸食を防止する目的で斜面の緑化（法面保護工）を実施していきます。

今後とも、騒音・粉塵対策等にはより一層配慮して工事を進めますが、何かありましたらお気軽に連絡をいただけますようお願いします。



和食ダム工事風景

左岸側の掘削現場にはどうやって上がっているのと疑問に感じている方もいるかと思いますが、答えは写真のようにモノレールを利用しています。車両名は「特急わじぎ号」。人や建設機械の燃料などの資材を効率よく輸送するためにかかせない乗り物です。掘削が進むにつれ標高が低くなっていきますが、その度に線路を変えており、4月末頃には現在の標高113mから108mへ敷設する予定です。なお、安全確保のためにシートベルトの徹底や最大積載量500kgを超えないことなどのルールを設けて利用しています。

シートベルトよし！
出発進行！！



芸西村の史跡紹介【第24弾】

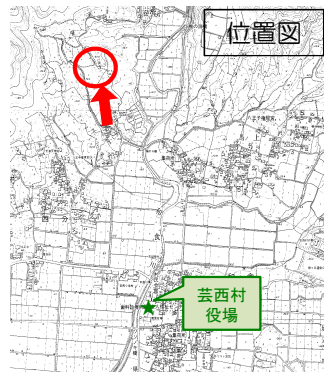
うまのうえしんはちまんぐう
《馬ノ上新八幡宮》

中の城の北にこんもりとした形の山がありますが、昔の村人はこの地を城の森と呼んできました。ここに新八幡宮の社があります。安岡氏奉納の祀り道具などがあり、中の城城主安岡氏の氏神であったと考えられています。当時は中の城周辺に家数も多かったのではないのでしょうか。

昔は絵馬もいくつかあったそうですが、現在では和食の貞広捕生の描いた絵馬一枚だけが掲げられています。

なお、新八幡宮には昭和四十四年（一九六九）、久重字板測の松尾神社が合祀されているようです。

次回は「八王子宮」です。！



つつじが今年も
きれいに咲きました！



お知らせ
ダムカード配布休止について



和食ダムカードの配布については、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から一時休止しています。大変ご迷惑をおかけしておりますが、国内の感染拡大を回避するため、皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

なお、ダムカードの配布を再開する場合には、和食ダム建設事務所のHP上にて改めてお知らせいたします。

次回の発行時期は、6月末を予定しています！